

〈音楽科〉 6年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- 旋律やコードを使った伴奏を即興的に創作し、曲に合わせて表現することができる。
- リコーダーは難しい指使いも正確に、きれいな音色でおおむね演奏できる。楽器の奏法を覚え曲想豊かにおおむね演奏できる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- 合奏では、音楽仕組みを活かして各パートの音色を聴き合い、バランスを考えて表現しようとしている。
- 理解した歌詞の内容や情景にふさわしい表現になるように、発声や強弱に気を付けて思いをこめて歌えるようになってきている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- 音楽への関心・意欲をもった児童が多く、合唱も合奏も主体的に取り組む姿が見られる。
- 明るく響きのある声で歌う工夫や、歌詞の内容や旋律から曲想を感じ取って表現を工夫しようとしている。
- 楽曲の特徴に気付いたり、曲想や情景を感じ取ったりして聴くことがおおむねできる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- 基礎的な表現能力（技能）を更に高め、合奏では協調して楽曲を表現できるようにすること。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- 音楽の仕組み(反復・変化)や要素（強弱・速度など）を生かして、創意工夫して音楽づくりができるようになること。
- 音の重なりや和声の響きなど、音楽を特徴づけている要素を感じ取り、表現を工夫すること。
- 呼吸と発音の仕方を工夫し、表現豊かに響のある美しい声で歌うたえるようになること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- 活動に主体的に取り組む、感じ取った楽曲の曲想に自信をもって合唱・合奏でのびやかに表現できるようになること。
- 進んで音楽を聴き、楽曲の様々な特徴、演奏の楽しさや魅力を感じ取り、音楽のよさや美しさを味わえるようにすること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- 合奏では、ペアやパート別練習に取り組む、互いに教え合いながら技能を向上させる。
又、互いの音を聴き合いってハーモニーを奏でるようにする。
- 楽曲を特徴づけている要素や仕組みのわかりやすい曲を選び、それらに気づきながら曲想を味わい、情景や心情が感じ取れるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- 音楽の仕組み(反復・変化)や要素（強弱・速度・重なりなど）を表現や鑑賞を通して感じ取ったり、表現に取り入れたりする学習を積み重ねていく。
- 友達の表現を互いに聴き合い、そのよさを見つけ、自分の表現に生かして高め合っていく。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- めあてや課題を明確にし、児童が主体的に活動できる学習内容や形態を工夫する。
- 友だちと協力して表現する楽しさや、聴き合う大切さを実感できるようにし意欲をもたせる。
- 変声期を迎えている児童には、無理のない声で歌うよう発音の仕方を工夫する。
発音と呼吸を工夫して、響のある声でのびやかに表現ができるようにしていく。